



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 新田ゼラチン株式会社  
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 曾我 憲道  
 (氏名) 佐々木 恒雄

TEL 072-949-5381

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	23,841	△2.5	336	△61.6	906	△14.4	621	△17.7
26年3月期第3四半期	24,449	14.7	876	△25.7	1,059	△26.6	754	△28.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,671百万円 (15.1%) 26年3月期第3四半期 1,451百万円 (15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	33.81	—
26年3月期第3四半期	43.59	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	33,523	15,514	45.9
26年3月期	31,389	13,781	43.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,397百万円 26年3月期 13,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,400	△1.3	600	△37.2	700	△37.2	500	△24.9	27.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	18,373,974 株	26年3月期	18,373,974 株
27年3月期3Q	162 株	26年3月期	162 株
27年3月期3Q	18,373,812 株	26年3月期3Q	17,311,862 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は回復しているものの、中国や東南アジア諸国をはじめとする新興国の成長に鈍化が見られ、シェールガス革命に起因する原油価格の急落による産油国の経済下振れリスクなど先行きは不透明な状況となっております。一方、日本経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が大きく、景気低迷が長引いております。

当社グループにとっては、海外原料価格の上昇、海外市場での需要減少、日本におけるエネルギーコストの上昇と円安による輸入仕入れコスト高止まりなど大変厳しい環境となりました。

この結果、売上高は23,841百万円（前年同期比2.5%減少）となりました。日本市場での価格改定時期遅れにより、営業利益は336百万円（前年同期比61.6%減少）、経常利益は為替差益により906百万円（前年同期比14.4%減少）、四半期純利益は621百万円（前年同期比17.7%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では食用、カプセル用の販売が増加しましたが、価格改定時期遅れにより利益は減少しました。北米は米国でのフィッシュオイルに関するネガティブ情報により、サプリメント市場が一時的に縮小しカプセル用の需要が減少、また、豚皮原料価格の上昇もあり利益は減少しました。この結果、円安の影響もありゼラチンの売上は増加しましたが、利益は減少しました。

コラーゲンペプチドは、アジア地域での販売が堅調でしたが、日本での消費税増税に伴う購買意欲の低迷が払拭しきれず販売は低調に推移し、売上が減少しました。

コラーゲンケーシングは、北米市場での販売が堅調に推移し、売上、利益ともに増加しました。

この結果、当該事業の売上高は16,888百万円（前年同期比1.5%増加）、セグメント利益は857百万円（前年同期比26.8%減少）となりました。

## ② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、消費税増税に伴う需要の減少と夏場の天候不順により製菓・デザートとハム・ソーセージ用が低調に推移し、売上が減少しました。

接着剤は、ホットメルト形接着剤の衛生材料用が減少し、また、シーリング材（高機能樹脂）は納入が始まっているものの、本格的な納入に至るまで時間を要し、売上が減少しました。

この結果、当該事業の売上高は6,952百万円（前年同期比11.0%減少）、セグメント利益は496百万円（前年同期比30.9%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比2,133百万円増加の33,523百万円となりました。主な要因は、債権流動化により受取手形及び売掛金が1,431百万円減少した一方で、商品及び製品などのたな卸資産が1,052百万円増加、接着剤事務所及び実験室の更新、ニッタゼラチンユーエスエーInc.におけるコラーゲンペプチド工場建設等により有形固定資産が2,146百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比400百万円増加の18,009百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が519百万円、退職給付に係る負債が91百万円減少した一方で、短期借入金が209百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）が699百万円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1,732百万円増加の15,514百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が699百万円、その他有価証券評価差額金が266百万円、為替換算調整勘定が892百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は45.9%（前連結会計年度末43.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想は、平成26年11月6日に公表しました「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の連結業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が225百万円増加（投資その他の資産のその他に含めて表示）、退職給付に係る負債が238百万円減少、利益剰余金が299百万円増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,426,006	1,940,996
受取手形及び売掛金	8,164,776	6,733,049
商品及び製品	4,732,050	5,142,894
仕掛品	1,089,542	1,256,730
原材料及び貯蔵品	1,820,812	2,295,309
その他	465,533	700,001
貸倒引当金	△13,339	△17,312
流動資産合計	18,685,381	18,051,669
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,815,141	4,445,651
機械装置及び運搬具(純額)	2,139,301	4,366,778
その他(純額)	3,849,844	2,138,699
有形固定資産合計	8,804,286	10,951,130
<b>無形固定資産</b>		
その他	50,795	60,081
無形固定資産合計	50,795	60,081
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,075,772	3,596,646
その他	775,527	865,007
貸倒引当金	△2,111	△1,233
投資その他の資産合計	3,849,189	4,460,420
固定資産合計	12,704,270	15,471,631
資産合計	31,389,652	33,523,301

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,255,505	3,736,182
短期借入金	1,121,491	1,330,584
1年内返済予定の長期借入金	1,932,912	2,081,328
未払法人税等	147,730	157,959
賞与引当金	177,916	94,266
その他	2,444,825	2,681,490
流動負債合計	10,080,381	10,081,810
固定負債		
長期借入金	4,415,868	4,967,069
役員退職慰労引当金	37,072	37,897
退職給付に係る負債	2,524,417	2,433,198
その他	550,869	489,323
固定負債合計	7,528,227	7,927,489
負債合計	17,608,608	18,009,299
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,144,929	3,144,929
資本剰余金	2,966,442	2,966,442
利益剰余金	8,623,463	9,323,345
自己株式	△68	△68
株主資本合計	14,734,766	15,434,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622,837	889,400
繰延ヘッジ損益	△5,110	63,963
為替換算調整勘定	△187,061	705,396
退職給付に係る調整累計額	△1,528,458	△1,696,125
その他の包括利益累計額合計	△1,097,792	△37,365
少数株主持分	144,069	116,718
純資産合計	13,781,043	15,514,001
負債純資産合計	31,389,652	33,523,301

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	24,449,332	23,841,880
売上原価	19,551,097	19,407,413
売上総利益	4,898,234	4,434,466
販売費及び一般管理費	4,021,373	4,097,701
営業利益	876,860	336,765
営業外収益		
受取利息	4,478	352
受取配当金	19,268	23,476
為替差益	178,701	589,113
持分法による投資利益	69,309	59,891
その他	58,548	68,897
営業外収益合計	330,306	741,731
営業外費用		
支払利息	107,601	114,431
株式公開費用	23,385	—
支払手数料	8,312	50,241
その他	8,563	6,950
営業外費用合計	147,862	171,623
経常利益	1,059,304	906,873
特別利益		
受取補償金	88,393	—
特別利益合計	88,393	—
特別損失		
固定資産除却損	15,802	20,932
特別損失合計	15,802	20,932
税金等調整前四半期純利益	1,131,896	885,940
法人税等	387,177	277,631
少数株主損益調整前四半期純利益	744,718	608,309
少数株主損失(△)	△9,903	△12,985
四半期純利益	754,622	621,294



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	744,718	608,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,973	266,257
繰延ヘッジ損益	△12,022	64,957
為替換算調整勘定	543,252	797,153
在外子会社の年金債務調整額	△63,174	—
退職給付に係る調整額	—	△167,921
持分法適用会社に対する持分相当額	5,716	102,474
その他の包括利益合計	706,746	1,062,921
四半期包括利益	1,451,465	1,671,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,449,505	1,681,722
少数株主に係る四半期包括利益	1,959	△10,491

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	16,636,438	7,812,893	24,449,332	—	24,449,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,101,271	—	1,101,271	△1,101,271	—
計	17,737,710	7,812,893	25,550,604	△1,101,271	24,449,332
セグメント利益	1,171,494	719,181	1,890,675	△1,013,814	876,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,013,814千円には、セグメント間取引消去2,394千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,016,208千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	16,888,944	6,952,935	23,841,880	—	23,841,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,084,067	—	1,084,067	△1,084,067	—
計	17,973,012	6,952,935	24,925,947	△1,084,067	23,841,880
セグメント利益	857,419	496,633	1,354,052	△1,017,287	336,765

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,017,287千円には、セグメント間取引消去1,623千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,018,910千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。